

# 令和4年度 学校評価

評価の指標（肯定の割合）A：80%以上（満足できる） B：60～79%（もう少し） C：50～59%（改善が望ましい） D：49%以下（改善が必要）

質問番号	質問内容	各分掌、各学年部による振り返りと改善策	自己評価	学校関係者評価（学校評議委員会による評価）	
				総合評価	コメント
1	本校の教育活動等の取り組みがホームページや島前高校だより、Classiにより発信され、本校の広報活動につながっていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に数値が上昇している。</li> <li>・ホームページについては学校行事や部活動の更新頻度を増やし、かつ迅速に掲載した。研修旅行の際のこまめなHP更新が好評であった。部活動における各毎月1回更新という目標は達成できなかった。Classiでのデータ配信については島前高校だよりを保護者にも直接届くようにした。（昨年度は生徒に印刷物を配布していた。）</li> <li>・今後も受け取り側の立場に立った情報発信に努めたい。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・更新回数は多いと思う。</li> <li>・生徒の評価がもう少し上がるとよい。</li> <li>・生徒のみではなく、教員の姿も出されている点は評価できる。</li> </ul>
2	PTA・鳥親・地域が連携し、学校行事を円滑に運営しながら、さらなる改善が図られていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に数値が上昇している。</li> <li>・昨年度よりも対面の行事を増やした。PTA総会はオンライン開催にしてから参加者が増加している。人権教育の指定校として、研修会などのPTA活動を増やした。鳥親と生徒の交流会を3島で行い、生徒が地域に出る機会を増やした。</li> <li>・今後とも、保護者が参加しやすいハイブリッドな体制の構築など更なる改善を図ってきたい。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥親と生徒の交流は適切に実施されている。</li> </ul>
3	寮生が充実した寮生活を送るための指導・支援が行われていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1、2年生と3年生保護者、教員の数値が下降している。</li> <li>・今ある規則を守りながら自分たちで寮を作り上げていくように支援を行った。しかし、生徒一人ひとりに規則をきちんと理解させることや自治運営すること意識させることができなかった。また、三體寮のカビの問題や宿直や調理員の募集、寮生の増加による課題（収納スペースの減少、学習机や靴箱の不足、浴室の利用時間、食堂以外の食事、電気製品などの設備、食料庫の容量など）など寮運営に係る多くの課題が克服できなかった。</li> <li>・今後は、寮の規則や体制の見直しと周知を行い、自治運営できるように教職員一人ひとりが意識して学校全体として支援・改善してきたい。</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定員数と適正な収容数の問題は引き続き課題である。</li> <li>・シェアハウスの取り組みの課題は何か。（食事面が一番の課題である。）</li> </ul>
4	生徒の資質・能力の育成を目指して、ICT機器の効果的な活用や図書館の充実を図っていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に数値が下降している。3年生保護者の数値が低い。</li> <li>・1、2年生は、1人1台端末の利用が当たり前になってきた。3年生は1人1台パソコンを持っていない。</li> <li>・今後は、よりよい活用事例等を教職員間で共有してきたい。</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の配信を工夫できないか。例えば、内航船の欠航による臨時休業時に配信があってもよい。</li> <li>・WiFi環境はどうなっているか。（課題に取り組み場合には問題ない状況である。しかし、Zoom配信時には容量や契約上の金額などの問題がある。）</li> </ul>
5	学校教育目標と各教科、総合的な探究の時間（夢探究）との関連を意識しながら、授業改善が図られていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に数値が上昇している。</li> <li>・黒板のマグネットの利用が定着した。研修会を通して、生徒と教員が島前高校の教育につけたい資質能力を意識できた。学校教育目標を意識した授業が行われ、生徒にも浸透した。ゼミ形式で「教科×探究」を実施するなど、各教科と探究の関連を意識しながら授業を組み立てることができた。夢探究や各教科での取り組みが実を結んでいる。</li> <li>・今後も継続したい。</li> </ul>	A	A	
6	探究学習プログラムを地域での実践に結びつけることに取り組んでいると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、保護者、教員のすべてで肯定の割合が90%を超えている。</li> <li>・探究学習が地域貢献とリンクするものになっており、保護者からの理解が得られた。1年生は主に地域共創実践活動を通して、地域の中での実践から失敗や学びを得るとともに、地域貢献活動の推進が果たせた。</li> <li>・2年生は夢探究や各教科での指導における取り組みが実を結んでいる。</li> <li>・今後も継続したい。</li> </ul>	A	A	
7	社会的自立に必要な資質、能力及び態度を身につかせ、地域から愛される人づくりを進めていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に数値が上昇している。</li> <li>・夢探究や各教科における取り組みが実を結んでいる。</li> <li>・今後は制服や携帯電話の使用ルールの改訂に取り組んでいきたい。18歳成人に関わる諸課題にも情報を収集しながら対応したい。</li> </ul>	A	A	
8	生徒が安心・安全な学校生活を送ることができるように、適切な支援が行われていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に上昇している。3年生生徒の肯定的意見が100%であった。</li> <li>・学校生活の根幹に関わることで、常に気をつけて取り組んだ。</li> <li>・今後も継続して安心・安全な学校生活を送るための支援を行う。</li> </ul>	A	A	
9	部活動加入を奨励し、生徒の主体的な取り組みを支援しながら部活動の充実を図っていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の数値は61%から78%へ上昇している。保護者の数値は88%から84%へ下降している。特に教員の数値は52から46へ下降し50%を下回った。</li> <li>・退部する生徒も散見された。部活動の掛け持ちが増えている。部員数の確保が難しくなった。部活動顧問の負担が大きい。</li> <li>・今後も継続的に部活動の推進に努めたい。</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員の評価が低い理由を整理して改善する。</li> <li>・部活動加入率はどれくらいか。（89%）</li> <li>・島外の生徒は島前地域の魅力にひかれてやってくる。運動部の生徒が休日地域活動に出て行き、練習に参加できないとしても、先生方は割り切って考えてほしい。生徒が気持ちよく地域活動ができるような環境になってほしい。そしてこれは教員の共通理解であってほしい。</li> <li>・部活動に加入していない生徒の中には地域活動やアルバイトをしている者もいる。</li> <li>・レスリングは隠岐島前地域にとって特別なものである。一層の支援をお願いする。</li> </ul>
10	総合的な探究の時間（夢探究）、面談などを通して、進路実現のために個に応じた支援がなされていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に数値が上昇している。3年生の保護者の肯定の割合が低い。</li> <li>・夢探究やこまめな面談が生徒の進路支援につながった。毎週の学年会での生徒情報共有、定期的な生徒面談を繰り返して、学科選択や科目選択を中心に生徒自身の進路実現に向け個に応じた支援をなすことができた。しかし、保護者への発信がうまくできていなかった。</li> <li>・今後は、保護者と連絡をこまめに取ることや面談での共有事項を整理することで進路実現のための支援につなげたい。</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生の地域共創科への希望状況はどのようになっているか。（普通科31人、地域共創科20人）</li> <li>・地域共創DAYについて島内の生徒にとってはどういう位置づけか。島内の生徒にとって積極的に感じられるものになっているか。（内容、時期、地域との共通理解など課題が多くある。）</li> </ul>
11	模試成績やキャリアプランシート（進路希望調査）などの具体的なデータに基づき、生徒の希望進路に沿った適切なアドバイスがなされていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、保護者ともに肯定の割合が10%程度上昇している。特に1年生の保護者では肯定の割合が95%に達している。2年生は昨年よりは上昇したが他学年に比べると低い数字になっている。3年生保護者の数値が低い。</li> <li>・1年生は繰り返し丁寧に学科選択についての説明を行った。3年生は模試を受けていない。また、キャリアプランシートを生徒と担任のみのやりとりをしていた。1、2年生は保護者コメントをもらっている。</li> <li>・今後も継続してデータの活用方法や情報の提供方法について改善したい。</li> </ul>	B	A	
12	生徒・保護者に対して進路に関する情報が提供され、生徒が主体的に進路を選択し、決定できる能力の育成を図っていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒、保護者ともに肯定の割合の数値が10%程度上昇している。生徒と比較して保護者のポイントが低い。2年生は肯定の割合が他学年に比べると低い数字になっている。</li> <li>・次年度のオンライン説明会や保護者面談では、地域共創科の内容等を具体的に紹介する。生徒が自ら進んでキャリア形成に取り組むことが出来るように支援する。保護者への情報提供として、日頃の学年通信などのお便りの頻度を増やすなどの改善を行う。</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国立大学の総合型選抜入試において、やりたいことが明確なスペシャリストが合格している。</li> </ul>
13	学校と地域が連携し、生徒が人間的に成長する機会をつくれていると思いますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全体的に数値が上昇している。2年生の保護者は大きく上昇している。</li> <li>・鳥親と生徒の年度当初の顔合わせや、島前三島での交流会を開催し、生徒が地域の方々となりがりを持つよう支援した。夢探究や各教科での指導における取り組みが実を結んでいる。</li> <li>・今後も部活動や生徒会活動を通して積極的に地域と連携してきたい。</li> </ul>	A	A	